

2021 年度 第 10 回 理事会議事録

日 時：2022 年 3 月 18 日(金) 17:30～19:35

会 場：オンライン会議

所在地：各施設等

出席者：谷、嘉成、宮城、大澤、高野、下口、齊藤、田島、高橋、服部、湯川、岡、成定

欠席者：今枝 (順不同、敬称略)

議事に先立ち、本理事会は役員の過半数の出席を認め、成立する旨確認した。

議事進行は、宮城副会長が担当した。

議題 I、前回議事録の確認

II、私立医科大学臨床検査技師会次期(2022 年度、2023 年度)役員について

III、2022 年度総会について

IV、2022 年度技師会活動について

V、編集委員について

I、前回議事録(2021 年度第 9 回理事会議事録)の確認

異議なく本理事会にて承認された。

II、私立医科大学臨床検査技師会次期(2022 年度、2023 年度)役員について

今期退任する役員の後任で推薦者が決まっていない 2 名の内、1 名は東邦大学医療センター大森病院の寶田雄一殿が推薦者として決定した。もう 1 名に関しては東海大学医学部付属八王子病院に推薦者を選出していただけませんか依頼した。

III、2022 年度総会について

2022 年度総会は、コロナウイルスの感染状況を考慮して Web 開催とする。(会場開催となった時のために予約していた入谷ホールはキャンセルすることとした。)

新規役員の承認は審議事項とし、役員推薦委員会からの推薦状を合わせて掲載する。総会の進行としては、まず今期の活動報告を行い、次に新規役員の承認を取り、承認が得られた後に来期の活動方針を報告するという流れであるが、Web 開催という性質上、新規役員の承認に関しては、審議事項の一つとして他の議案と同列に掲載する。

審議事項の承認方法は、包括同意の形式とする。(掲載文書の閲覧をもって反対意見のない場合は同意したとみなす。) 委任状の形式は取らないため、会員はホームページを必ず確認していただき、反対意見等ある場合はホームページより入力する。反対意見のない場合は全て承認扱いとなる旨案内文を配布し、包括同意自体に異議がある場合もホームページより意見を入力していただく。

IV、2022 年度技師会活動について

1、基礎講座

2022 年度の基礎講座の講師を帝京大学附属病院の生理機能検査室のスタッフに依頼している。

2、日本医療検査科学会との共催

日本医療検査科学会とのシンポジウム共同開催のテーマとして「タスク・シフティング」、「AI 医療」、「臨地実習」が候補として挙げられている。タスク・シフティングに関しては準備段階の施設が多く、まだ本格的に実施している施設が少ないため、演者の確保が難しい状況となっている。AI 医療に関しては、各理事が所属病院にて実施状況を確認し、演者を探すこととした。臨地実習に関しては教育協議会や臨床検査技師学校養成所の教員に演者(学生を含む)を紹介していただけないか問い合わせる。また、日本臨床検査技師会にも、臨地実習指導者講習会の講師や履修者を紹介していただけないか問い合わせる。

V、編集委員について

1、カメラデン編集委員会細則の改定について

編集委員会に出席できない場合に委任状を提出することにより出席扱いとする提案について、あらためて編集委員会で協議した結果、本提案は取り下げるとの報告があった。議案が重要審議事項である場合は過半数の出席を必要とするとの代替案が示されたが、これは元々の委員会成立要件と同じであり、規則上齟齬が生じているため再度協議を依頼した。

2、カメラデン 71 号について

カメラデン 71 号の発行費用は 542,426 円、PDF 作成費用は 192,280 円であった。(PDF 作成費用は作成のみでホームページに掲載するなどの作業は含まれない。)

カメラデン 71 号にトピックス記事を投稿していただいたアボットダイアグノスティクスメディカル株式会社から同冊子の購入依頼があり、100 冊を販売することとなった。見積金額は 100,980 円として先方に提出した。内訳は 1 冊 1,000 円、郵送代が 980 円となっており、1 冊の価格設定は学術研修会で販売している価格と同価格とした。

以上

連絡事項：次回 2021 年度第 11 回理事会は 2022 年 3 月 25(金)17:30～Web 会議にて開催予定